

はじめに

- ・音声警報装置を正しく施工していただくために、設置工事の前に、この取扱・施工説明書をよくお読みください。
- ・施工後は、この取扱・施工説明書を大切に保管してください。
- ・この取扱・施工説明書は、標準品について記述しています。
- ・出荷状態のままAC電源を投入すると警報ブザーが鳴動しますので、すぐに予備電源を接続してください。
- ・本機は火災受信機と接続することによって、音声警報を行うことができます。

音声警報装置の設置場所

- 故障や誤作動を防ぐため、本機は次のような場所に設置してください。
- ・直接日光が当たらない所、暖房やボイラーなどからの熱風が直接当たらない所。
 - ・水滴、蒸気、ほこり、腐食性ガスなどがつからない所。
 - ・振動の少ない所。
 - ・周囲に操作上支障となる障害物のない所。
 - ・常に人がいて、様子を確かめられる所。
 - ・周囲温度が0℃～40℃の所。

安全上のご注意

- 注意** 電源はAC100V専用です。接続前に入力電圧を確認してください。AC100V以外の電源は、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- 注意** 電源(AC100V)接続時は、感電防止のため、ブレーカーを遮断してから作業を行ってください。電源端子に設けてあるカバーは接続終了後、元通りに取り付けてください。
- 注意** ヒューズは必ず決められた容量、指定の仕様のものを使用してください。それ以外のものを使用した場合は、故障、発火の原因となります。
- 注意** 予備電源を取り付けるとき、電源をショートさせないように注意してください。やけどの恐れがあります。
- 注意** 予備電源の接続は、＋・－を絶対間違わないようにしてください。予備電源を発熱・破裂させる原因になります。
- 注意** 各端子への外線接続は、所定の定格容量・極性に従って正しく行ってください。誤った場合は、故障や発火の原因となります。
- 注意** アースを確実に接続してください。接続しないと、漏電時に感電の恐れがあります。
- 注意** 濡れた手で音声警報装置の内部に触れないでください。感電の恐れがあります。

「寿命部品」定期交換のお願い

- 注意** 予備電源は寿命部品になりますので、定期交換推奨年数の5年で定期交換してください。

取付方法

- 注意** 音声警報装置は、その重量に十分耐えるように、また転倒しないように強固に取り付けてください。安易な取り付けは脱落・転倒の恐れがあります。
- 注意** キャビネットに直接穴をあける場合は、切り屑が回路部に入り込まないよう、十分に注意してください。ショートや故障の原因となります。

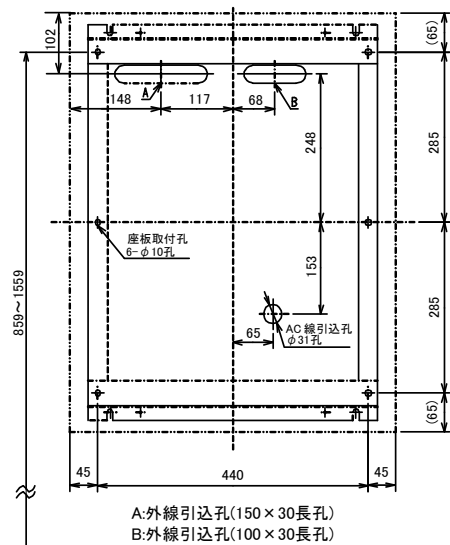
・FVJJ002-B1-20C120W の場合

- ① キャビネット取付金具をアンカーボルト (M8) または同等品で壁面にに取り付けてください。床面からの取り付け高さは、下図に示す範囲内にしてください。
- ② 取付金具にキャビネットを引っ掛けて、取付金具とキャビネットを固定してください。

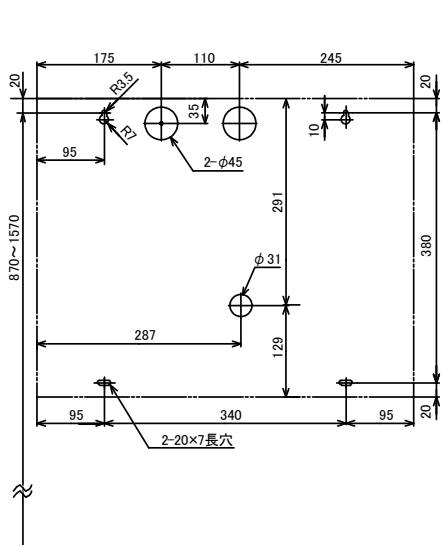
・FVJJ002-R-5C15W, 10C30W, 15C30W の場合

- ① キャビネットをアンカーボルト (M6) または同等品で壁面にに取り付けてください。床面からの取り付け高さは、下図に示す範囲内にしてください。

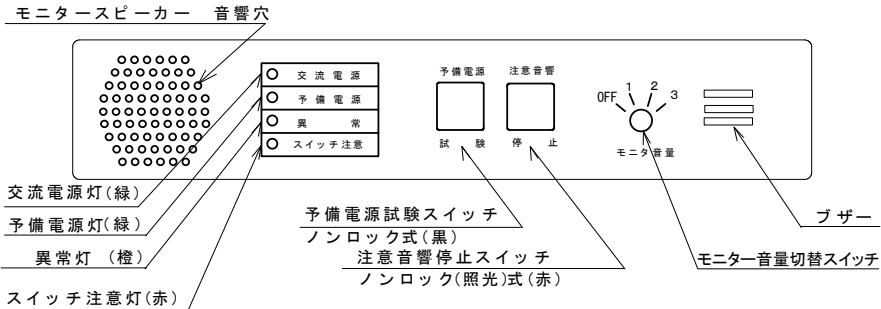
取付寸法詳細図FVJJ002-B1-20C120W



取付寸法詳細図FVJJ002-R-5C15W,10C30W,15C30W



操作パネルの機能説明



- 1) モニタースピーカー：作動時の警報音をモニターできます。
- 2) 交流電源灯(LED：緑)：交流電源動作時(平常時)に点灯し、予備電源動作時(停電時)には消灯します。
- 3) 予備電源灯(LED：緑)：予備電源動作時(停電時)に点灯します。予備電源の異常時に点滅します。予備電源試験時に正常な場合は点灯、異常の場合は点滅します。
- 4) 異常灯(LED：橙)：異常発生時に点滅します。予備電源異常(予備電池脱落、予備電池電圧異常)、スピーカー短絡(スピーカー短絡検出設定時)ヒューズ断、メモリ書き込み異常。
- 5) スwitch注意灯(LED：赤)：注意音響停止スイッチ操作時、設定モード中に点滅します。
- 6) 予備電源試験スイッチ(ノンロック、黒)スイッチが押されている間、予備電源試験を行います。(最大15秒間)15秒以上押し続けると、予備電源試験は強制終了されます。予備電源動作時(停電時)、音声警報作動時は、予備電源試験はできません。
- 7) 注意音響停止スイッチ(照光式ノンロック、橙・LED：赤)注意音響(異常時)を停止します。停止中はスイッチのLEDが点灯します。
- 8) モニター音量切替スイッチ：モニターの音量をOFF及び3段階に調整できます。
- 9) ブザー：注意音響(異常時)を鳴動します。

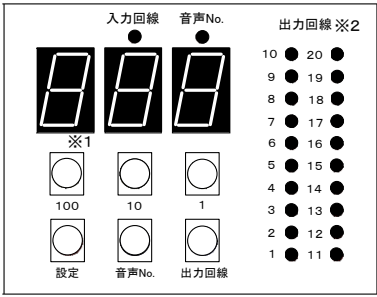
回線数の設定スイッチ(内部制御基板)

- 注意** 回線数を誤って設定しないよう、十分注意してください。誤った場合、その回線は正しい音声出力、異常検出が行われません。
- 注意** FVJJ002-R型シリーズは工場出荷時に各回線仕様の設定となっています。回線数の設定はできませんので設定を変更しないで下さい。

工場出荷時の各回線数設定は右図の通りです。

1	2	回線数
ON	OFF	5 回線
OFF	ON	10 回線
OFF	OFF	15 回線

設定に使用する表示及びキー(内部制御基板)



図はFVJJ002-B1-20C120Wの例です。

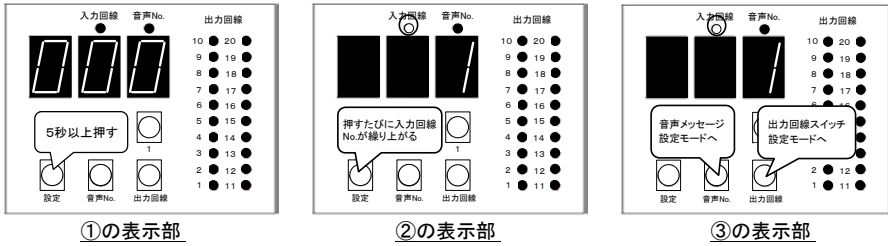
- 100/10/1 スイッチ：音声フレーズ設定モード時に、100/10/1の位の選択を行います。(※1)
- 設定スイッチ：各設定時における割り当ての決定、入力回線No.の切替えを行います。
- 音声No. スイッチ：音声フレーズ設定モードへの切替えや音声フレーズの選択を行います。
- 出力回線スイッチ：出力回線設定モードへの切替えや出力回線の選択を行います。(※2)
- ※1：100の位の7セグ表示器および100スイッチはFVJJ002-R型シリーズ(5/10/15回線)にはありません。
- ※2：FVJJ002-R型シリーズ(5/10/15回線)の出力回線LEDは縦1列に並んでいます

スピーカー出力マトリクス/音声フレーズ設定方法

- 注意** スピーカー出力マトリクス/音声フレーズを誤って設定しないよう、十分に注意してください。誤って設定した場合、正しい音声出力・異常監視が行えませんので、設定終了後、必ず作動試験を実施してください。

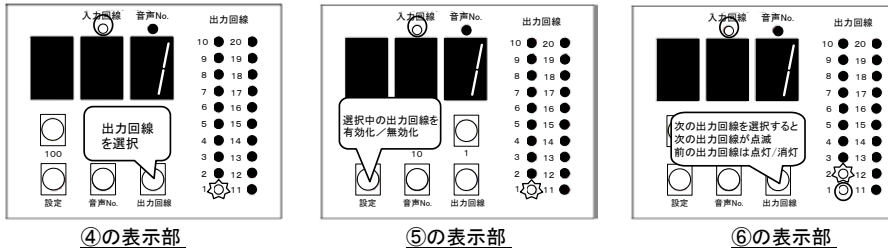
(1) マトリクス設定モード

- ① 警報が作動していないノーマルモード(待機中)で、「設定スイッチ」を5秒以上押し続けることでマトリクス設定モードになります。マトリクス設定モードでは盤面のスイッチ注意灯が点滅し(マトリクス設定モード中継続)、7セグ表示器に“000”または“00”が表示されます。以降、点滅：点灯：で表現
- ② 「設定スイッチ」を押して設定する入力回線を選択します。「設定スイッチ」を繰り返し押すことにより、7セグ表示器に表示される入力回線No.が0から最終回線まで進み、再度0から最終回線までを繰り返します。例) 00→1→2→3→・・・→18→19→20(※3)→00→1→2→3→・・・
- ※3：FVJJ002-R型シリーズ(5/10/15回線時)では、ディップスイッチ(S5)で設定された回線数(5/10/15)までが表示されます。7セグ表示器に表示される入力回線に対して、現在マトリクス設定されている出力回線LEDが点灯します。
- ③ 入力回線No.が表示された状態で「出力回線スイッチ」を押すと、出力回線設定モード(④～⑦参照)に、「音声No. スイッチ」を押すと音声メッセージ設定モード(⑧～⑪参照)に入ります。・出力回線設定モードの場合は、出力回線1のLEDが点滅します。・音声メッセージ設定モードの場合は、7セグ表示器に現在設定されている発生場所音声1の音声フレーズNo.が表示されます。



(2) 出力回線設定モード

- ④ 「出力回線スイッチ」を押して、設定する出力回線を選択します。選択した出力回線のLEDが点滅します。
- ⑤ 「設定スイッチ」を押すことで選択した回線の出力が有効となります。既に有効となっている出力回線を選択して「設定スイッチ」を押すと、回線の出力は無効となります。
- ⑥ 「出力回線スイッチ」を押して、次の出力回線を選択することで前の出力回線の状態を点灯(有効)/消灯(無効)により確認することができます。
- ⑦ 上記の④と⑤の操作を繰り返し、入力回線に対する全出力回線マトリクスを設定します。設定終了後は出力回線LEDが設定値を表示しているとき(LEDの点滅が無いとき)に「設定スイッチ」を押すと自動的に入力回線選択(②)に戻ります。(設定終了時は②の操作に進んでください。)もしくは、「音声No. スイッチ」を押すことで現在設定中の入力回線に対する音声メッセージ設定モード(⑧)に切り替わります。

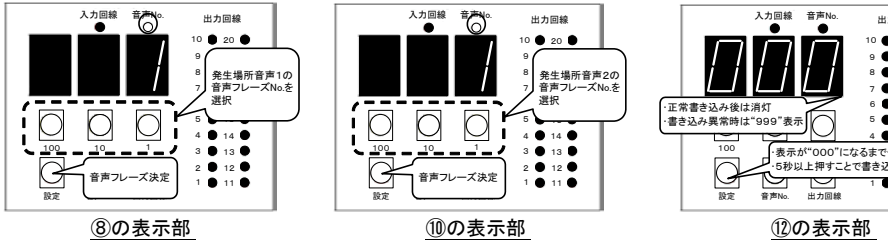


(3) 音声メッセージ設定モード

- ⑧ 「100スイッチ」、「10スイッチ」、「1スイッチ」を押して、発生場所音声1の音声フレーズNo.を選択します。「設定スイッチ」を操作して、発生場所音声1を決定します。(音声フレーズについては「発生場所音声の内容」の章を参照願います。)
- ⑨ 続いて7セグ表示器に現在設定されている発生場所音声2の音声フレーズNo.が表示されます。
- ⑩ 「100スイッチ」、「10スイッチ」、「1スイッチ」を押して、発生場所音声2の音声フレーズNo.を選択します。「設定スイッチ」を操作して、発生場所音声2を決定します。
- ⑪ 自動的に入力回線選択(②)に戻るので、各入力回線に対して上記⑧～⑩の設定を行います。(設定終了時は②の操作に進んでください。)

(4) 設定内容の書き込み/マトリクス設定モードの終了

- ⑫ 上記の操作により全ての入力回線の出力回線マトリクス、音声メッセージ設定が終了した時点で「設定スイッチ」を押して、7セグ表示器を“000”表示(FVJJ002-R型シリーズ(5/10/15回線)は“00”表示)にします。この状態で「設定スイッチ」を5秒以上押すことで、設定されたデータがメモリに書き込まれ、マトリクス設定モードを終了しノーマルモード(待機中)に戻ります。メモリに書き込むことが出来なかった場合は7セグ表示器に“999”を表示(FVJJ002-R型シリーズ(5/10/15回線)は“99”表示)して盤面の異常灯が点滅し、注意音(警報ブザー)が鳴動します。
- ⑬ 設定動作中に出火階信号(階別移報信号)と火災受信機からのBKC-BKF信号(地区音響鳴動信号)、またはBKC-BA信号(地区音響一斉鳴動信号)を受信したときは、設定中のデータは全て無効となり自動的に設定モードを終了して音声警報メッセージを出力します。



[補足]設定内容の初期化(工場出荷時設定)

「設定スイッチ」を押しながら電源を投入すると、スピーカー出力マトリクス／音声フレーズは工場出荷時の設定に戻ります。(入出力回線が1対1、発生場所音声1に音声フレーズNo.が1から順番に設定済)
(注)工場出荷時設定に戻す時以外は「設定スイッチ」を押しながら電源投入しないでください。
既に登録されたデータが初期化されます。

発生場所音声の内容

音声フレーズ No. と音声警報メッセージ

「火事です。火事です。(＊1)(＊2)で火災が発生しました。安全を確認の上避難してください。」
・設定時に7セグ表示器に表示される発生場所音声1(＊1)、発生場所音声2(＊2)の音声No.の内容は次の表の様に割り当てられています。

表 1. FVJJ002-R 型シリーズ (5/10/15 回線) 15W, 30W

N o .	音 声	N o .	音 声	N o .	音 声	N o .	音 声
0 0	なし	1 0	1 0 階	2 0	2 0 階	3 0	3 0 階
0 1	1 階	1 1	1 1 階	2 1	2 1 階	3 1	地下 2 階
0 2	2 階	1 2	1 2 階	2 2	2 2 階	3 2	地下 1 階
0 3	3 階	1 3	1 3 階	2 3	2 3 階	3 3	階段
0 4	4 階	1 4	1 4 階	2 4	2 4 階	3 4	エレベーター
0 5	5 階	1 5	1 5 階	2 5	2 5 階	3 5	集会室
0 6	6 階	1 6	1 6 階	2 6	2 6 階	3 6	駐車場
0 7	7 階	1 7	1 7 階	2 7	2 7 階	3 7	電気室
0 8	8 階	1 8	1 8 階	2 8	2 8 階	3 8	機械室
0 9	9 階	1 9	1 9 階	2 9	2 9 階	3 9	倉庫

表 2. FVJJ002-B1-20C120W (20 回線)

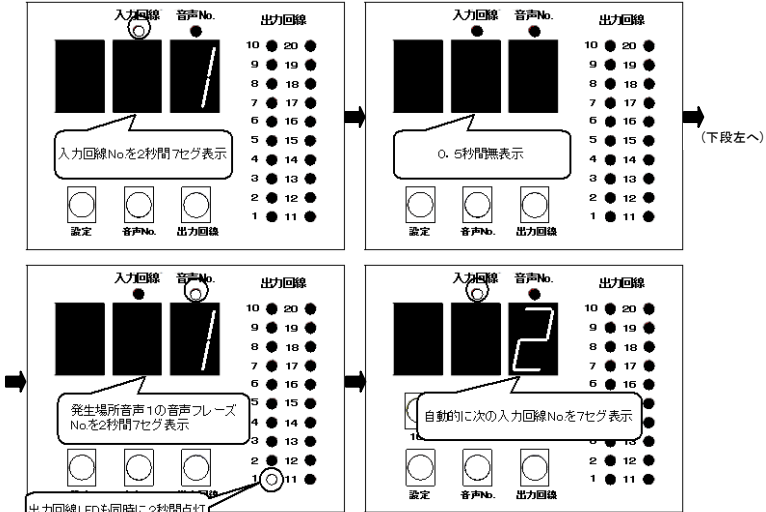
N o .	音 声	N o .	音 声	N o .	音 声
0 0	なし	4 1	4 1 階	8 2	電気室
0 1	1 階	4 2	4 2 階	8 3	塔屋
0 2	2 階	4 3	4 3 階	8 4	アトリウム
0 3	3 階	4 4	4 4 階	8 5	エントランスホール
0 4	4 階	4 5	4 5 階	8 6	駐車場
0 5	5 階	4 6	4 6 階	8 7	駐輪場
0 6	6 階	4 7	4 7 階	8 8	この近所
0 7	7 階	4 8	4 8 階	8 9	この付近
0 8	8 階	4 9	4 9 階	9 0	カーリフト
0 9	9 階	5 0	5 0 階	9 1	ビット
1 0	1 0 階	5 1	5 1 階	9 2	廊下
1 1	1 1 階	5 2	5 2 階	9 3	ロビー
1 2	1 2 階	5 3	5 3 階	9 4	倉庫
1 3	1 3 階	5 4	5 4 階	9 5	シャフト
1 4	1 4 階	5 5	5 5 階	9 6	共用室
1 5	1 5 階	5 6	地下 階	9 7	店舗
1 6	1 6 階	5 7	地下 3 階	9 8	東
1 7	1 7 階	5 8	地下 4 階	9 9	西
1 8	1 8 階	5 9	地下 5 階	1 0 0	南
1 9	1 9 階	6 0	塔屋階	1 0 1	北
2 0	2 0 階	6 1	非常エレベーター	1 0 2	A
2 1	2 1 階	6 2	非常エレベーターホール	1 0 3	B
2 2	2 2 階	6 3	エレベーター	1 0 4	C
2 3	2 3 階	6 4	エレベーターシャフト	1 0 5	D
2 4	2 4 階	6 5	エレベーター昇降路	1 0 6	E
2 5	2 5 階	6 6	エレベーターホール	1 0 7	F
2 6	2 6 階	6 7	管理室	1 0 8	G
2 7	2 7 階	6 8	管理人室	1 0 9	H
2 8	2 8 階	6 9	機械室	1 1 0	R
2 9	2 9 階	7 0	キッズルーム	1 1 1	階段
3 0	3 0 階	7 1	共用部	1 1 2	階段室
3 1	3 1 階	7 2	警備室	1 1 3	階段付近
3 2	3 2 階	7 3	娛樂室	1 1 4	地下 1 階
3 3	3 3 階	7 4	集会室	1 1 5	地下 2 階
3 4	3 4 階	7 5	集会場	1 1 6	地階
3 5	3 5 階	7 6	多目的ホール	1 1 7	屋上
3 6	3 6 階	7 7	トランクルーム	1 1 8	地下
3 7	3 7 階	7 8	トレーニングルーム	1 1 9	階
3 8	3 8 階	7 9	防災センター	1 2 0	ゴミ置き場
3 9	3 9 階	8 0	ポンプ室	1 2 1	発電機室
4 0	4 0 階	8 1	レクリエーションルーム	1 2 2	受水槽室

(注)＊1, ＊2 が不要の場合は、音声フレーズ No. 0 0 を選択して下さい。

設定内容の確認

(1)発生場所音声1の音声フレーズNo. および出力回線割り当て設定の確認方法

- ①ノーマルモード(待機中)の時に「設定スイッチ」を押しながら「音声No. スイッチ」を押すと、スイッチ注意灯が点滅し設定内容表示モード1(発生場所音声1の音声フレーズNo. と出力回線の割り当て表示)に入ります。
②最初に入力回線灯の点灯とともに入力回線No. の “1” を7セグ表示器に2秒間表示し、0.5秒間のブランク表示(無表示)のあとに、音声No. 灯が点灯し割り当てられている発生場所音声1の音声フレーズNo. を7セグ表示器に割り当てられている出力回線を出力回線LEDに2秒間同時に表示。これを入力回線No. 20(※4)まで繰り返します。終了時にはスイッチ注意灯を消灯し、ノーマルモード(待機中)に戻ります。
※4：FVJJ002-R 型シリーズ(5/10/15 回線)では、ディップスイッチ(S5)で設定された回線数(5/10/15)までが表示されます。



③設定内容表示中に出火階信号(階別移報信号)と火災受信機からのBKC-BKF 信号(地区音響鳴動信号)、またはBKC-BA 信号(地区音響一斉鳴動信号)を受信したときは、強制的に設定内容表示モード1を終了し音声警報メッセージを出力します。

(2)発生場所音声2の音声フレーズNo. および出力回線割り当て設定の確認方法(表示例は発生場所音声1と同様)

- ①ノーマルモード(待機中)の時に「設定スイッチ」を押しながら「出力回線スイッチ」を押すと、スイッチ注意灯が点滅し設定内容表示モード2(発生場所音声2の音声フレーズNo. と出力回線の割り当て表示)に入ります。
②最初に入力回線灯の点灯とともに入力回線No. の “1” を7セグ表示器に2秒間表示し、0.5秒間のブランク表示(無表示)のあとに、音声No. 灯が点灯し割り当てられている発生場所音声2の音声フレーズNo. を7セグ表示器に、割り当てられている出力回線を出力回線LEDに2秒間同時に表示。これを入力回線No. 20(※4)まで繰り返します。終了時にはスイッチ注意灯を消灯し、ノーマルモード(待機中)に戻ります。
※4：FVJJ002-R 型シリーズ(5/10/15 回線)では、ディップスイッチ(S5)で設定された回線数(5/10/15)までが表示されます。
③設定内容表示中に出火階信号(階別移報信号)と火災受信機からのBKC-BKF 信号(地区音響鳴動信号)、またはBKC-BA 信号(地区音響一斉鳴動信号)を受信したときは、強制的に設定内容表示モード2を終了して音声警報メッセージを出力します。

スピーカー短絡検出設定方法

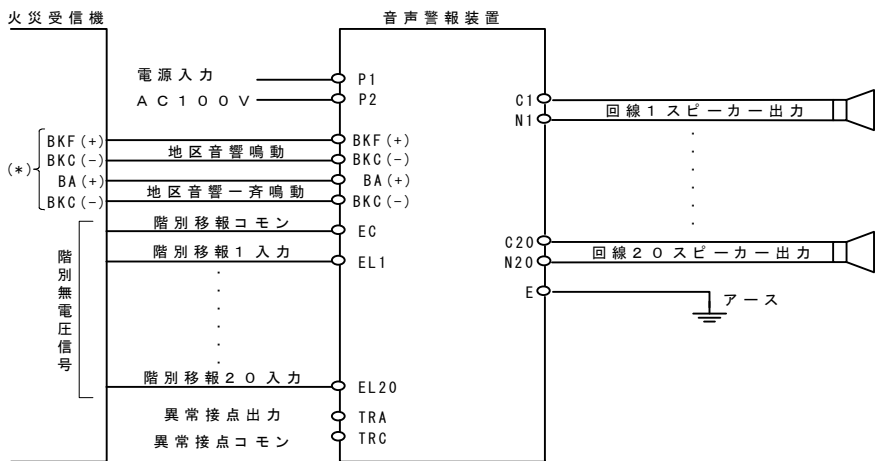
- 本設定により、スピーカー回線の短絡検出機能をON/OFF できます。工場出荷時設定はOFF となっています。
(注)本機能を有効とする場合、配線抵抗を含めた直流抵抗が250Ω以上となるスピーカーを接続する必要があります。
①ノーマルモード(待機中)の時に「出力回線スイッチ」を5秒以上押し続けると、スイッチ注意灯を点滅させてスピーカー短絡検出設定モードに入ります。
②現在の設定が7セグ表示器に表示されます。“0” (短絡検出機能OFF)または“1” (短絡検出機能ON)を表します。
③「設定スイッチ」を押して、“0” (OFF)または“1” (ON)を選択します。
④「出力回線スイッチ」を5秒以上押すと、スイッチ注意灯が消灯し、7セグ表示器に表示されている設定をメモリに書き込み、ノーマルモード(待機中)に戻ります。メモリに書き込むことが出来なかった場合は、7セグ表示器に“999”を表示(FVJJ002-R 型シリーズ(5/10/15 回線)は“99”表示)して盤面の異常灯が点滅し、注意音(警報ブザー)が鳴動します。
⑤設定動作中に出火階信号(階別移報信号)と火災受信機からのBKC-BKF 信号(地区音響鳴動信号)、またはBKC-BA 信号(地区音響一斉鳴動信号)を受信したときは、設定中のデータは無効となり強制的に設定モードを終了して音声警報メッセージを出力します。

接続図

機能動作

- ①通常は階別無電圧信号と火災受信機からのBKC-BKF 信号(地区音響鳴動)とBKC-BA 信号(地区音響一斉鳴動)を監視しています。階別無電圧信号とBKC-BKF 信号またはBKC-BA 信号を受信した時に、火災発生と判断してマトリクス設定に応じた各スピーカー出力回線の出力回線LED を点灯させて、音声警報メッセージを出力します。
②階別無電圧信号とBKC-BKF 信号およびBKC-BA 信号を受信したときは、マトリクス設定で割り当てられている全てのスピーカー回線の出力回線LED を点灯させて、音声警報メッセージを出力します。
③階別無電圧信号のみで、BKC-BKF 信号またはBKC-BA 信号を受信できないときは、音声警報メッセージは各スピーカーからは出力されません。(モニタースピーカーのみの鳴動となります。)
④スピーカー回線の短絡またはヒューズの断線が発生している回線からは、音声メッセージは鳴動できません。短絡時、ヒューズ断線時は、異常灯と短絡、ヒューズ断線が発生している出力回線LED を点滅し、注意音響(警報ブザー)を鳴動します。
⑤異常発生時には、異常出力接点(TRA-TRC)をON します。

■FVJJ002-B1-20C120W(20回線)の場合



■FVJJ002-R型シリーズ(5/10/15回線)の場合

- ・5C15W: 階別移報1～5入力,回線1～5スピーカー出力(1～5回線)
- ・10C30W: 階別移報1～10入力,回線1～10スピーカー出力(1～10回線)
- ・15C30W: 階別移報1～15入力,回線1～15スピーカー出力(1～15回線)

* 上記はFAPJ104/105/202シリーズ受信機などの接続例です。
受信機により地区音響端子名称および極性が異なります。
受信機と音声警報装置の極性を合わせて接続して下さい。

[受信機地区音響出力との接続先]

注意	FAP120/121/128/129/232シリーズ受信機、FCS120/121/128/129シリーズ受信機に接続する場合は以下の表を参照して誤接続しないよう注意してください。		
音声警報装置側端子名称	色	FAPJ/FCSJ104 シリーズ FAPJ/FCSJ105 シリーズ 進P、進PⅡ受信機側の端子名称	FAP120/121/128/129/232 シリーズ受信機、 FCS120/121/128/129 シリーズ受信機 受信機側の端子名称
BKF	赤	BKF	BC
BKC	青	BKC	BF
BA	赤	BA	BC
BKC	青	BKC	BA

FAPJ/FCSJ104 シリーズ、FAPJ/FCSJ105 シリーズ受信機での地区音響出力の極性変更に伴い、端子名称が従来機種から変更となりました。

接続条件・定格

型名	FVJJ002-R-5C15W	FVJJ002-R-10C30W	FVJJ002-R-15C30W	FVJJ002-B1-20C120W
電源	AC100V±10% 50/60Hz			
消費電流	約 600mA	約 1100mA		約 4A
消費電力	監視時：約 30VA 作動時：約 63VA	監視時：約 29VA 作動時：約 120VA		監視時：約 17VA 作動時：約 380VA
予備電源	密閉型蓄電池内蔵 DC24V 0.9Ah	密閉型蓄電池内蔵 DC24V 1.2Ah		密閉型蓄電池内蔵 DC24V 4.0Ah
階別信号入力	5 系統 (無電圧接点入力)	10 系統 (無電圧接点入力)	15 系統 (無電圧接点入力)	20 系統 (無電圧接点入力)
スピーカー出力 (MAX)	5 系統 1W:15 個 3W: 5 個	10 系統 1W:30 個 3W:10 個	15 系統 1W:30 個 3W:10 個	20 系統 1W:120 個 3W: 40 個
スピーカー仕様	定格入力：3W/1W、定格インピーダンス：3.3kΩ/10kΩ 音圧：92dB/W/m、種類：L 級、直流抵抗 250Ω以上 (短絡検出機能ありの場合)			
1 系統(1 回線)あたりの スピーカー接続個数	短絡検出あり:3 個 短絡検出なし:5 個(3W)/15 個(1W)			
スピーカー配線抵抗値	30Ω, 0.1μF 以下			
アンプ最大出力	15W (定格電圧:AC100V)	30W (定格電圧: AC100V)		120W (定格電圧: AC100V)
AC ヒューズ	2A	3A		6.3A(耐ラッシュ)
DC ヒューズ	3A	5A		10A(即断型)
出力ヒューズ	0.1A	0.3A		0.3A
使用温度範囲	0～40℃ ただし結露無きこと			
質量	約 18kg			約 35kg

能美防災株式会社

本 社	〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3	TEL.(03)3265-0211		
支 社	北海道(011)746-6911	東 北(022)221-2695	新 潟(025)243-8121	丸の内(03)3213-1781
	茨 城(029)225-2600	千 葉(043)266-0303	北関東(048)669-2255	西関東(042)643-1520
	横 浜(045)682-4700	静 岡(054)247-3211	中 部(052)915-2411	長 野(026)227-5521
	金 沢(076)252-6211	関 西(06)6330-8661	京 都(075)694-1192	中 国(082)510-1125
	岡 山(086)244-4222	九 州(092)712-1560		
営 業 所	旭 川(0166)35-7824	青 森(017)729-0532	盛 岡(019)645-0552	秋 田(018)862-5086
	郡 山(024)947-1194	福 島(024)528-4195	羽 田(03)5757-9393	渋 谷(03)3461-1051
	杉 並(03)3306-0451	群 東(03)3626-2461	五反田(03)3779-9737	土 浦(029)822-3851
	宇都宮(028)637-4317	群 馬(027)328-1567	埼玉西(049)247-4640	川 崎(044)233-5773
	沼 津(055)923-9669	浜 松(053)473-3422	三 重(059)226-9860	富 山(076)444-1450
	福 井(0776)21-0056	神 戸(078)334-3581	四 国(087)868-6811	北九州(093)583-3344
	長 崎(095)845-0135	熊 本(096)360-1051	大 分(097)543-2778	宮 崎(0985)28-8792
	鹿児島(099)253-8196	沖 縄(098)862-4297		
工 場	三 鷹(0422)44-5141	メヌマ(048)588-1531		

URL <http://www.nohmi.co.jp/>